

令和3年度第4回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和3年12月8日(水) 13:30~16:00

2 場所 湖南高等学校 図書館

3 参加者

委員(敬称略・順不同)

小山 伝一郎、佐藤 忠男、石田 慶仁、満田 仁一、桑名 秀一郎、和田 祐樹
薄 良枝、山口 正国、二瓶 正仁、酒井 祐治

事務局

渡辺 延幸、遠藤 潤、木村 清志、高柴 有一、森 修、伊藤 恵美、五十嵐 稜
大山 洋子

4 内容

(1) 開会のことば 満田 仁一副会長

(2) 会長あいさつ 小山 伝一郎会長

先ほどそばの6次化商品である湖南産蕎麦粉100%「湖南 the 1st(湖南高校生開発そばケーキ)」をいただきました。湖南高校の様々な活動が具体的な形になってきているので、とても嬉しく思います。このような中で、我々学校運営協議会は少しでも学校の活動に協力していきたいと思えます。

(3) 校長あいさつ 酒井 祐治校長

本日は授業参観していただきました。本校には中学校時代に勉強が苦手だったという生徒が授業に真剣に向き合う姿勢と雰囲気があります。本校教員は生徒一人一人が分かる・できるための丁寧な指導をしています。

学校運営協議会の皆様には、初の試みである就職面接の指導にご協力いただきました。おかげさまで大方の生徒が合格することができました。中学校時代に不登校だった生徒は高校で大きく変わり、毎日休まず登校し、見事郡山市内の看護専門学校に合格しました。13年連続、生徒の進路実現100%を目指していきたいと思えます。

生徒たちが1年かけて開発してきた湖南産蕎麦粉100%のみで作った「湖南 the 1st」が完成しました。11月の湖南町商工祭では『蕎麦プロジェクト』の成果物として発表でき、70個が40分ほどで完売しました。『古民家再生プロジェクト』は冬に完成予定です。来春には古民家でオープニング行事ができればと考えています。

委員の桑名秀一郎さんのご協力により、本校そば部生徒3名と教員3名が蕎麦初段位の認定をいただくことができました。「GAP蕎麦リレー」「蕎麦とロック 2021」などのイベントにも参加しました。来年の1月30日には東京・日本橋にある福島県の首都圏情報発信拠点 MIDETTE(ミデッテ)で蕎麦の実演・試食・販売、「湖南 the 1st (湖南高校生開発そばケーキ) の販売を行う予定です。

本校の活動が県外からも興味を示されており、来週の蕎麦プロジェクト収穫祭には山形県立北村山高校と埼玉城北中学・高等学校が視察に来ます。湖南地域の魅力発信になると考えています。

(4) 報告

① 第3回学校運営協議会議事録

② 令和3年度郡山市市民活動推進顕彰事業(まちづくりハーモニー賞)受賞

本校の学校運営協議会(コミュニティスクール)がまちづくりに貢献しているということで郡山市長より顕彰を受けることになった。

③ 学校と地域の取組

●地域・学校の魅力化～『蕎麦プロジェクト』～

12月15日(水)10:00～蕎麦プロジェクト収穫祭

・6次化商品

「湖南 the 1st」(湖南産蕎麦粉100%のみで作ったそばケーキ)が完成した。

・古民家再生

2022年完成予定。湖南町の情報・魅力発信基地。「蕎麦プロジェクト」関連商品を販売する予定。今年度はリノベーション作業を行うのみ。

●地域の人的・物的資源活用～湖南高校応援隊『ここおた』～

・菜種油プロジェクト

商品化に向け、生徒は商品ラベルのデザインを作成している。里山再生家の三宅正芳さん、地域おこし協力隊の菅井恵美さんに協力いただいた。

・第2回もちつき大会

12月1日(水)実施した。福良地区認定農業者の阿部さんご夫妻が餅米2斗を提供してくださいました。地域の方に協力いただきながら、全生徒が臼と杵を使ってもちつきをした。臼と杵を使った餅つきは初めてという生徒もいて、生徒はとても楽しく活動できた。

●行事イベントに相互参加～学校行事の連携『イベントに行ったり来たりしませんか』～

・湖南町「商工祭」

湖南町の菓子工房 mogu mogu さんにご協力いただき、生徒は「湖南 the 1st」(湖南産蕎麦粉100%のみで作ったそばケーキ)を販売した。商品は40分ほどで完売し、大好評だった。湖南高校の良さを知っていただく絶好の機会となった。

・令和3年度湖南地区「少年の主張」

公民館主催。2年生が最優秀賞、1年生が優秀賞を受賞し、過日、表彰式があった。

●湖南地域ホームステイ制度を考えるワーキンググループ

前回から実施されていない。引き続き湖南地区の発展につながるようにしていきたい。

●その他

・湖南高校『蕎麦プロジェクト』収穫祭

地域の方にお世話になって成り立つ2年目の行事であり、多くの方々にご参加いただきたい。全校生徒はそばを打って、茹でて食べることに実際に行く。

・学校視察受入

山形県立北村山高等学校は12月14日(水)、15日(木)の2日間、城北埼玉中学・高等学校は12月15日(木)に来校する。コミュニティ・スクール成立の経緯、委員の選び方、どのような組織が、どのようなことをやっているのかを視察する。

・日本橋ふくしま館 MIDETTE(ミデッテ)における湖南の魅力発信

令和4年1月30日(日)11:00~蕎麦の実演・販売を行う。コミュニティ・スクールとして、湖南の魅力や湖南高校の魅力を、蕎麦を通して発信する機会になる。桑名秀一郎さんと本校生徒が中心となって行う。

・冬の遠足

令和4年1月28日(金)に実施する。会場は昨年同様、沼尻スキー場。湖南在住のスキー指導員5名に当日はボランティアで講師になっていただく。本校は郡山市内で唯一、体育の授業でスキーを実施している。1月からは福良スキー場でスキー授業をする。生徒たちはスキー未経験者が多く、実施後の満足度がかなり高い行事である。今年度も事故のないよう実施する。

④ 先進校視察研修

12月下旬に、本校教員が埼玉県川越市にある城北埼玉中学・高等学校へ視察に行く。

(5) 協議

① 令和4年度コミュニティ・スクール

●湖南町のよさを魅力発信する

□『蕎麦プロジェクト』について

- ・桑名 秀一郎さんを中心に地元の方々が生徒たちと一緒に楽しみながら活動している。
- ・学校は一生懸命動いている。まだまだ教員が中心となって活動している。生徒が率先して活動できるよう、地域の大人も一緒に活動していきたい。
- ・湖南高校そば部が湖南の広報役になっている。湖南の魅力が『蕎麦プロジェクト』によって県内にとどまらず県外にも発信されている。
- ・活動予算を考えていく必要がある。
- ・『蕎麦プロジェクト』と『古民家再生プロジェクト』を連携・集約、継続して欲しい。

□ボート部の安心安全な練習場所（猪苗代湖）の提供について

- ・猪苗代湖上の一般利用者のマナーが悪く、ボート部が練習できないことがあった。学校運営協議会や地域住民が県や市に働きかけ、マナーの指導・改善に協力を求める。

□地元湖南でのインターンシップについて

- ・地域の方々のお手伝いをしたい。農家が忙しい時期（平日）の手伝いや福祉施設での研修・介護補助・手伝いである。
- ・除雪ボランティア活動は継続して欲しい。
- ・生徒が地域の方と関わることで、生徒は地元湖南町に愛着がわく。活動を通して、湖南の問題点や課題が見えるようになり、自分の力で湖南を何とかしなければいけないと思う生徒も出てきた。今後もそのような生徒を増やしていきたい。
- ・蕎麦の収穫などの諸活動や先生方の指導によって、生徒や学校の雰囲気は良くなっている感じがする。

□湖南高校だよりについて

- ・この情報を湖南町の人のみならず、郡山市内の人にも共有してもらいたい。
- ・湖南高校だよりの湖南町内全戸配付は継続してほしい。
- ・高校生が描くイラストなどが載っている湖南高校だよりを作成・配付してほしい。

(6) その他

① 湖南町「観光マップ」づくり

年度内完成に向けて、県中建設事務所とともに湖南の魅力が詰まっているマップを生徒主体で進めていきたい。

② 令和3年度学校評価のアンケート

本年度の本校に対する学校評価をお願いしたい。

③ その他

- 学校運営協議会の任期は2年です。引き続きご協力をお願いしたい。
- 永年勤務は難しいとは思いますが、管理職の校長・教頭をはじめ先生方にはこのまま残って欲しい。
- 会津バス湖南郡山営業所の薄所長が退職し、新たに山口所長が着任した。

(7) 閉会のことば 満田 仁一副会長

※ 諸連絡（遠藤教頭）

次回、第5回は2月9日（水）です。よろしくお願いします。

(15:45 終了)